

生成AIが変える医療の世界

第2回

生成AIの活用事例と課題 (利用方法とサブスクリプションモデル)

茨城県立こども病院 診療放射線技師 本元 強

はじめに： 医療現場における 生成AIの台頭

人工知能（AI）技術の進化は目覚ましく、特に「生成AI」の登場は社会に大きな変革をもたらしている。生成AIとは、ディープラーニングを基盤とし、文章、画像、音声、プログラムコードなど多様なコンテンツを自律的に生成するAIである。従来の識別系AIが既存データの分類やパターン認識を主とするのに対し、生成AIは「新たなものを生み出す」点に特化している。2022年11月にOpenAIがChatGPTをリリースして以来、その高度なテキスト生成能力が世界中で注目を集め、医療分野においてもその応用可能性が急速に探求されている。

この生成AIの登場は、医療現場に大きな変革をもたらす可能性を秘めている。生成AIは、文書の自動生成、合成画像の生成といった創造的なタスクを可能にする。これは、医療従事者のルーティンワークの自動化に留まらず、これまで人間が行ってきた高度な知的作業の一部を代替・支援し、医療の質そのものを変革する潜在力を有する。

初心者のための 生成AIの使用方法和 アプリ活用のすすめ

ChatGPTは、OpenAIが開発した対話型の人工知能であり、ユーザーが自然な言葉で問いかけることで、質問への回答、文章作成、アイデア出しなど多様なサポートを提供してくれる¹⁾。スマートフォンやパソコンから簡単にアクセスでき、まるで人と会話しているかのようなやりとりが可能である。またGemini、Claudeなど主要なAIツールも同様なやり取りが可能である^{2, 3)}。以下、ChatGPTを例として、使用方法を説明する。

1.ChatGPTの基本的な使い方

初心者でも操作は非常に簡単である。以下に基本的な利用方法を示す。

①アカウントの作成

ChatGPTを利用するには、OpenAIの公式サイト (<https://chat.openai.com>) またはアプリからアカウントを作成する。

②質問の入力

例として、「おすすめの旅行先は？」など、普段の会話のように自然言語で入力すればよい（従来の検索のように「おすすめ 旅行先」でも可）。

③回答の確認

入力に対してAIが即座に返答を行う。さらに詳しく知りたい場合は追加で質問を重ねることができる。

④内容の調整

「もっと簡単に」「やさしく説明して」など、指示を加えることで回答を調整可能である。

2.アプリ利用のすすめ

ChatGPTにはWeb版のほかにスマートフォンアプリも存在する。アプリの利用には、即時アクセス、音声入力、履歴管理などの多くの利点がある（図1）。

3.効果的な利用のために

ChatGPTを有効に活用するためには、問いかけを具体的かつ明確にすることが重要である。「～風にしてほしい」「短くまとめてほしい」などの指示を添えることで、より期待に沿った回答が得られる。また、専門用語や難解な表現が出てきた際も、「もっとやさしく説明して」と依頼すれば、理解しやすい言葉に言い換えてもらえる。

サブスクリプション モデルの課金の 必要性

執筆現在（2025/06/23）の状況で、ChatGPT、Gemini、Claudeなど主要なAIツールの多くが、無料プランでも多くの機能を有している。基本的なチャット機能から、高度な検索機能、画像・動画作成などを実施可能である。

無料プランでの機能に物足りなさを感じるユーザーは、有料プランの検討をおすすめする。有料プランでは、利用回数制限の増加、最新モデルの利用、特定のツールが利用可能になるなどのメリットがある。支払い方法には、年払いと月払いを選択できるケースが多